



加茂市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因と考えられる気候変動の影響により、地球規模で深刻な自然災害が発生しています。国内においても、これまで経験したことのない猛暑や集中豪雨などによる自然災害が頻発し、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

2015年に採択されたパリ協定では「世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて1.5℃までに抑える努力を追求する」と目標が掲げられ、2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

これらの目標の達成のため、国は、2020年10月に「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

このような国内外の動向を踏まえ、加茂市においても、直面している地球温暖化という課題に対し、強い危機感を持ち、脱炭素社会への取り組みを積極的に進めていくことが求められています。

私たちは、先人から受け継いだこのかけがえのないふるさとを守り、次の世代においても「笑顔あふれるまち」であり続けられるよう、市民・事業者・行政が一体となって2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「加茂市ゼロカーボンシティ」の実現に向けてチャレンジすることを宣言します。

令和5年（2023年）3月20日

加茂市長 藤田明美

